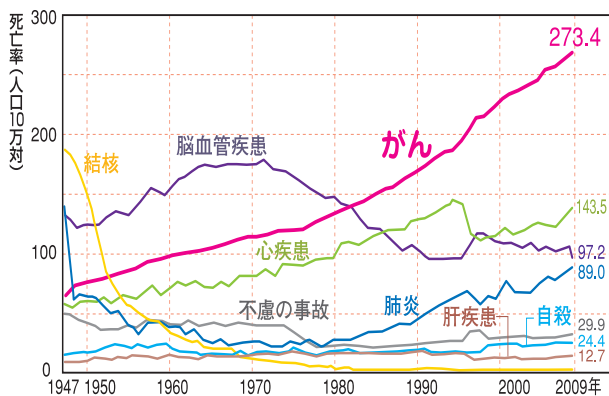


がんは死因のトップ

がんによる死亡者数は、1981年（昭和56年）に脳血管疾患による死亡者数を抜き、以来、日本人の死因の第1位であるとともに、グラフで明らかなように、いまなおその数は増加しています。09年（平成21年）には全死亡者114万2千人中、34万4千人に達しており、ほぼ30%を占めています。これは交通事故で亡くなった人の実に70倍にもなります。

がんで亡くなる人はほぼ1分半に1人のペースであり、高齢化が進むにつれて、さらに増加することが予想されます。

日本の死因別死亡率の推移



厚生労働省・2009年の人口動態統計より（概数）